

# 野洲市都市構造の調査分析結果 (概要)

◇野洲市における人口の現状と将来見通し

# 人口に占める高齢者割合は年々増加傾向にあり、今後人口は減少していく。

## 1. 人口の推移

- ◆野洲市の人口は、昭和40年代後半以降に大きく増加しているが、近年はその増加傾向割合が鈍化している。
- ◆『国立社会保障・人口問題研究所』による将来の人口推計の結果では、将来的には減少傾向が続くと予測されている。

### 総人口

49,955人(平成22年)  
↓ 約0.90倍  
44,915人(平成52年)

### 老年人口

9,969人(平成22年)  
↓ 約1.45倍  
14,408人(平成52年)

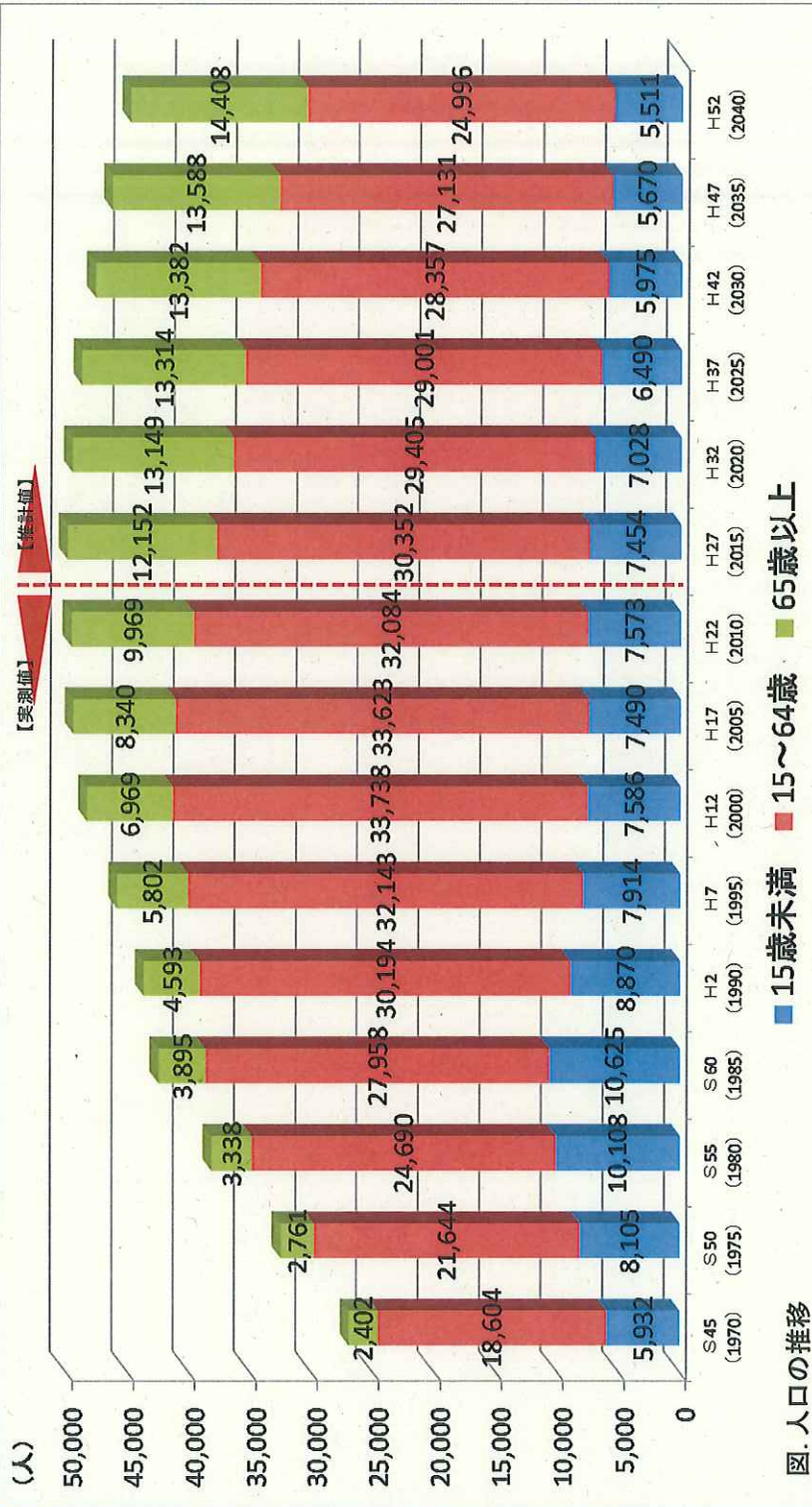


図. 人口の推移



# 人口動向

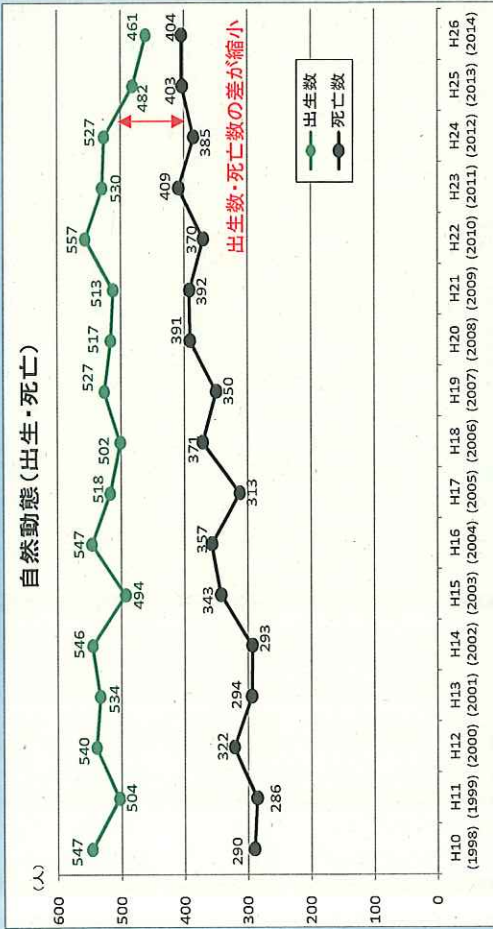


図. 自然動態の推移  
出典) 滋賀県推計人口年報 ※各年10/1現在(前年10/1～当年9/30)

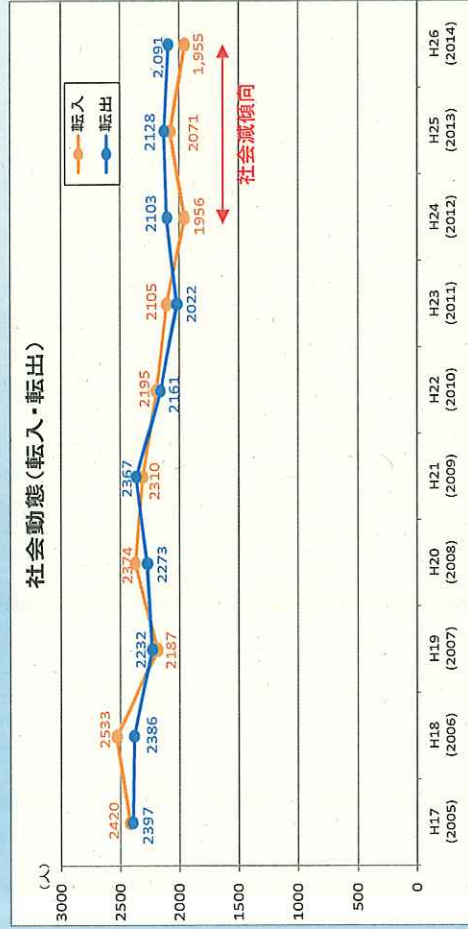
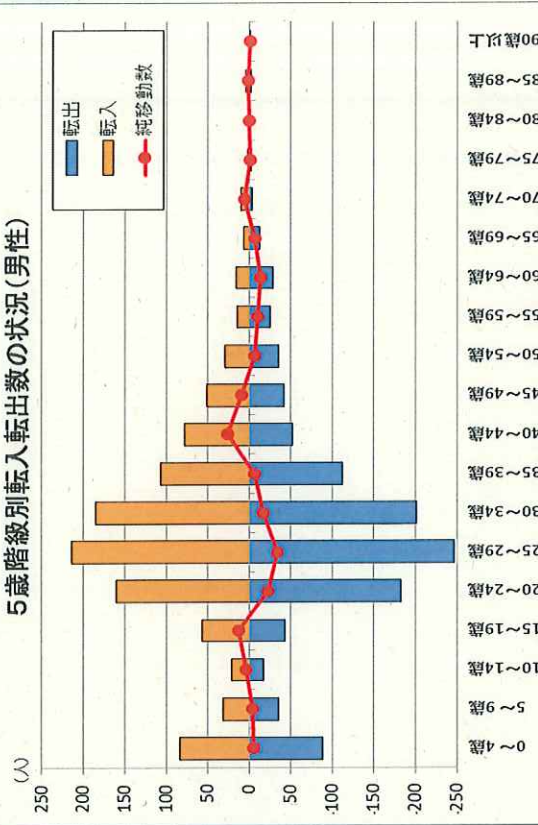


図. 社会動態の推移  
出典) 滋賀県推計人口年報 ※各年10/1現在(前年10/1～当年9/30)

# 5歳階級別転入転出数の状況(男性)



# 5歳階級別転入転出数の状況(女性)

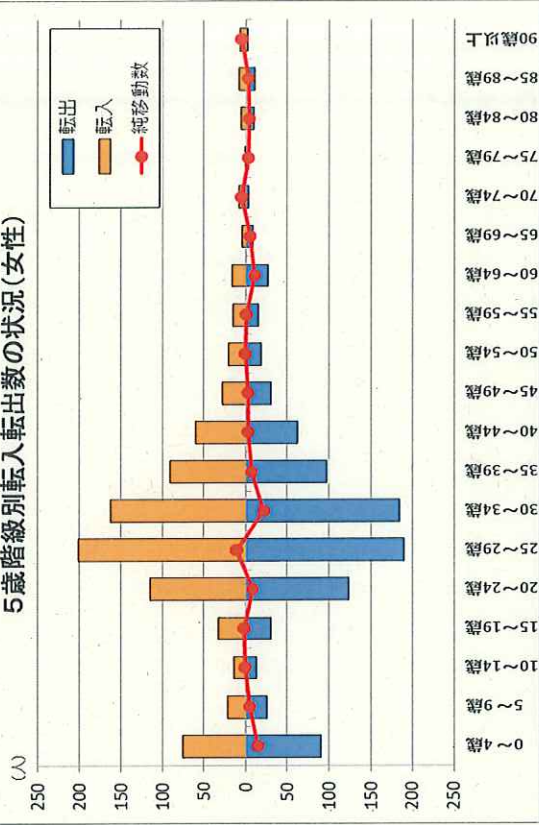


図. 5歳階級男女の転入転出の状況 出典) 滋賀県推計人口年報 ※(H26(2014)年)※10/1現在(前年10/1～当年9/30)



## 2. 年齢構成別人口の推移

- ◆年少人口(15歳未満)は、昭和60年以降 減少傾向  
生産年齢人口は、平成12年以降 減少傾向  
老年人口(65歳以上)は、年々増加傾向

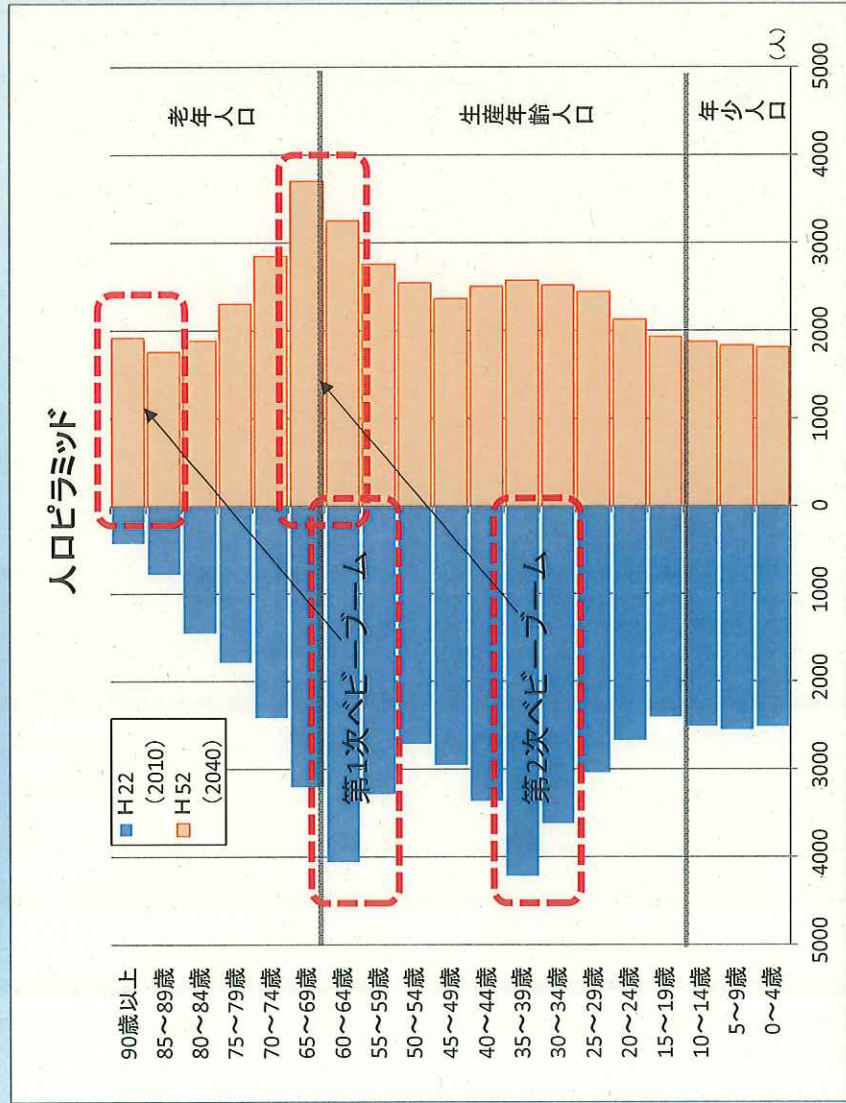


図. H22とH52の人口ピラミッド

- ◆将来の人口の変動率、高齢化率は、滋賀県内の他都市と比較してほぼ平均値

市町村	総人口(人)		人口の変動率	65歳以上人口(人)			人口の変動率	
	H22 (2010)	H52 (2040)		H22 (2010)	H52 (2040)	高齢化率 (%)		
滋賀県	1,410,777	1,309,300	0.93	288,788	428,941	20.5	32.8	1.49
大津市	337,634	326,627	0.97	68,825	114,195	20.4	35.0	1.66
彦根市	112,156	102,940	0.92	22,660	33,598	20.2	32.6	1.48
長浜市	124,131	104,646	0.84	29,125	35,637	23.5	34.1	1.22
近江八幡市	81,738	73,051	0.89	17,610	23,089	21.5	31.6	1.31
草津市	130,874	145,136	1.11	21,427	40,938	16.4	28.2	1.91
守山市	76,560	86,337	1.13	13,060	25,129	17.1	29.1	1.92
栗東市	63,655	71,889	1.13	9,283	18,806	14.6	26.2	2.03
甲賀市	92,704	75,552	0.81	20,365	25,790	22.0	34.1	1.27
野洲市	49,955	44,915	0.90	9,969	14,408	20.0	32.1	1.45
湖南市	54,614	45,143	0.83	9,015	15,533	16.5	34.4	1.72
高島市	52,486	38,723	0.74	14,640	15,723	27.9	40.6	1.07
東近江市	115,479	96,792	0.84	24,632	33,080	21.3	34.2	1.34
米原市	40,060	31,541	0.79	10,138	11,321	25.3	35.9	1.12

表. 県内の人口・高齢者の割合

出典) 国勢調査(平成22年まで)  
国立社会保障・人口問題研究所(平成27年以降)



# 人口減少とともに、市全域において人口密度が低下する。

## 3. 地域別人口密度の推移

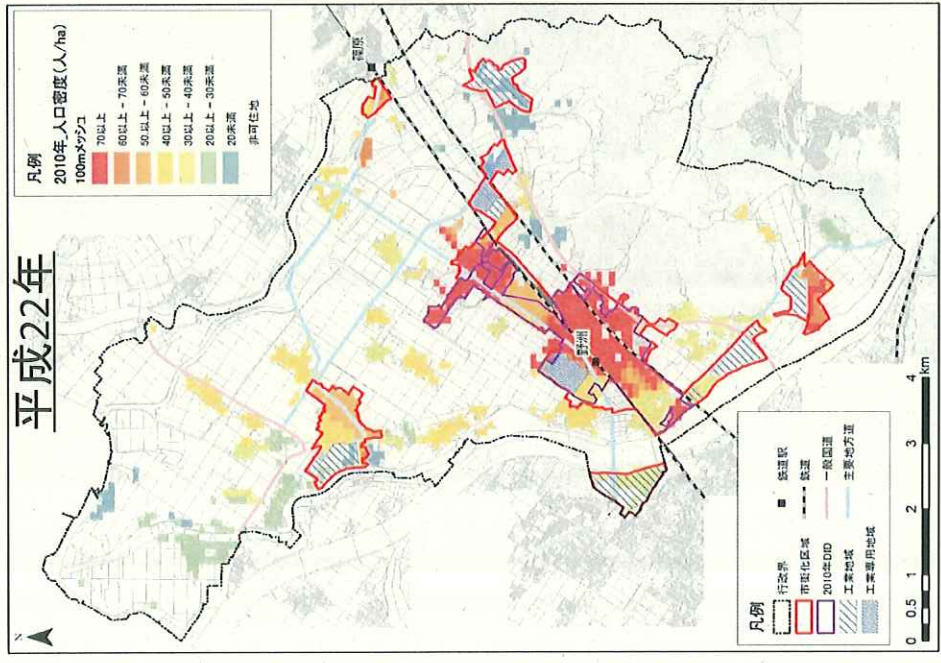


図. 人口密度 (平成22年)

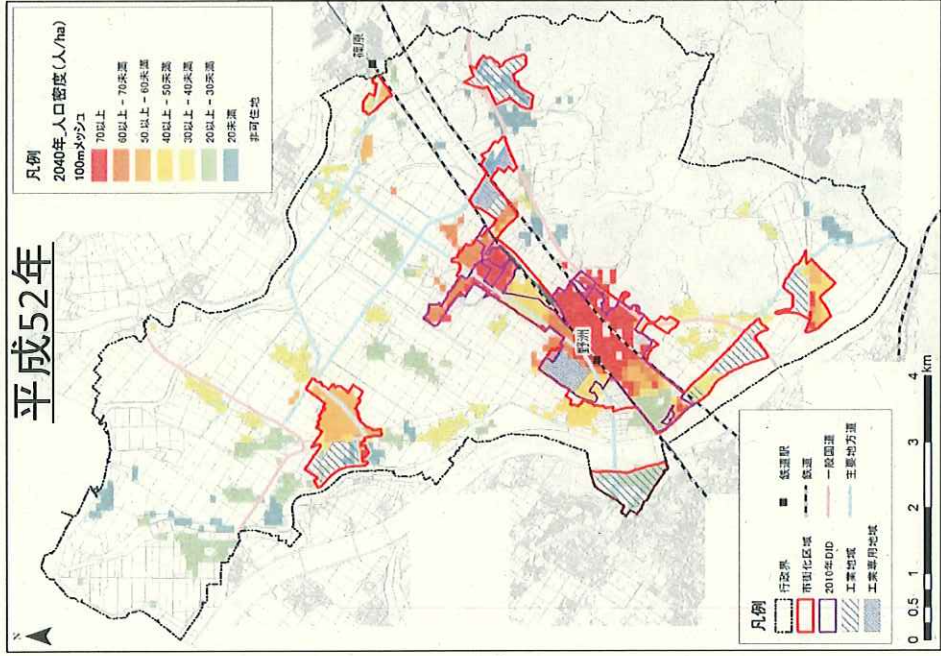


図. 人口密度 (平成52年)

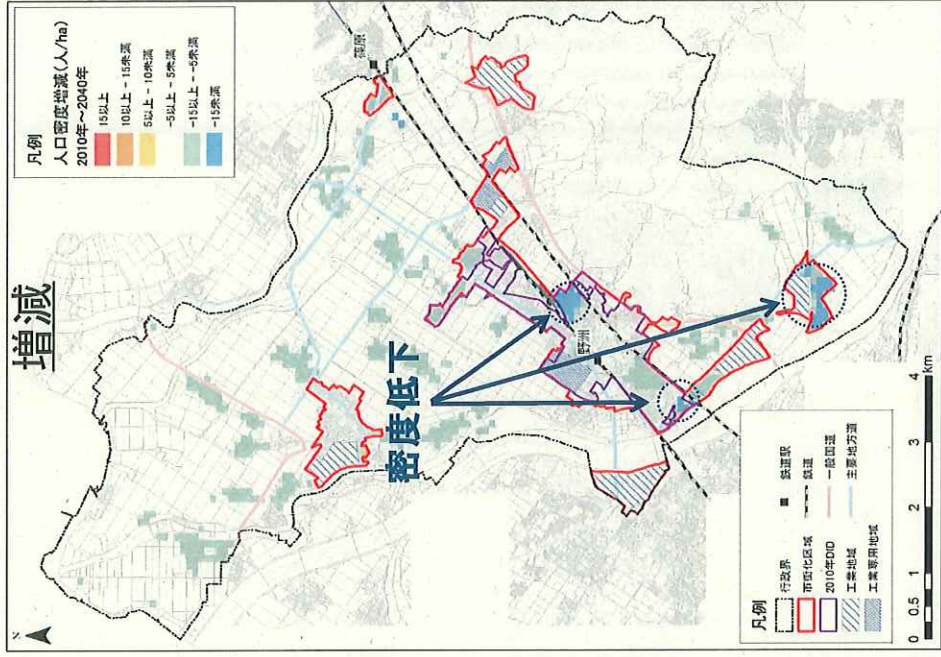


図. 人口密度の増減図 (平成52年 - 平成22年)



# 市域全体で高齢者割合が増加する。

## 4. 高齢化率の推移

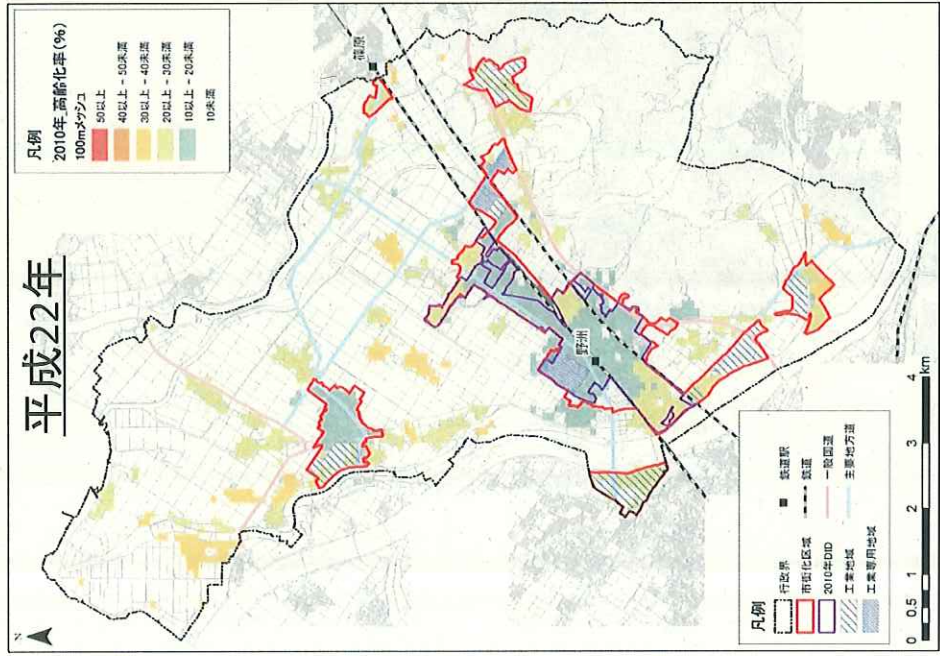


図. 高齢化率の分布 (平成22年)

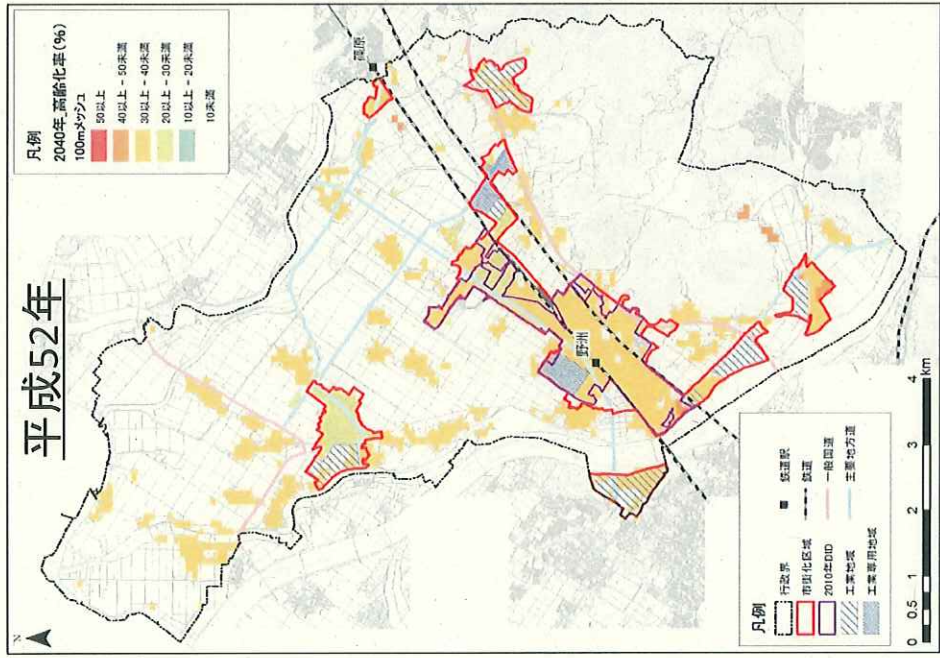


図. 高齢化率の分布 (平成52年)

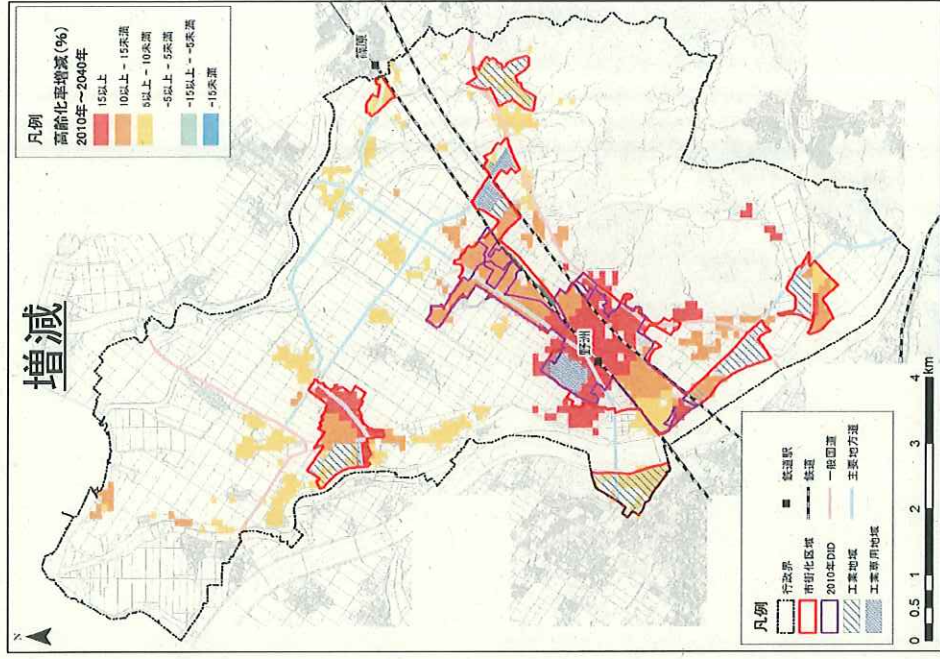


図. 高齢化率の増減図 (平成52年～平成22年)



## ◇野洲市の都市構造上の課題について

- (1) 既存住宅用地の住環境維持及び新たな住宅用地の確保
- (2) 基幹道路を中心とした商業サービスの誘導
- (3) 野洲駅へのバス利便性の向上
- (4) 広域的な基幹交通インフラの整備
- (5) 災害等に対する安全性の確保



# (1) 既存住宅用地の住環境維持及び新たな住宅用地の確保

- ◆ 本市の都市計画区域に占める市街化区域の割合は12.7%と非常に狭小  
一方でDID人口密度は72.9人/haと県内で最も高い。
- ◆ 今後この高い人口密度を適正に維持していくためには、既存市街化区域  
における良好な住環境の維持・向上は勿論のこと、市内に在住する20～  
30代の子育て層等次世代のための新たな住宅用地の確保や、市内事業  
所等で働く従業者の職住近接が可能な住環境を整備し、確保していくこと  
が必要である。

	都市計画 区域	市街化 区域	市街化 割合	DID 人口密度
大津市	32,910ha	5,936ha	18.0%	69.8人/ha
草津市	4,822ha	1,875ha	38.9%	70.9人/ha
守山市	4,518ha	1,193ha	26.4%	59.4人/ha
栗東市	5,275ha	1,405ha	26.6%	65.1人/ha
<b>野洲市</b>	<b>6,053ha</b>	<b>767ha</b>	<b>12.7%</b>	<b>72.9人/ha</b>
湖南市	7,049ha	1,425ha	20.2%	36.4人/ha

表.大津湖南都市計画区域の状況 出典)滋賀県の都市計画2014

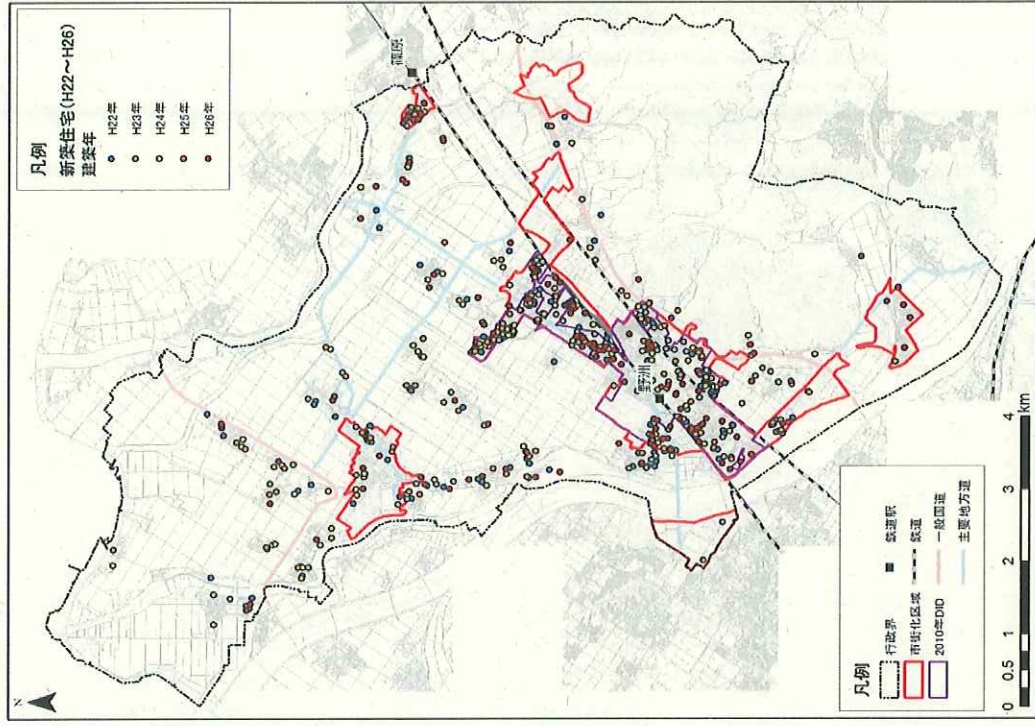


図.新築住宅の分布状況

出典) 市務資料



# ■土地利用の推移

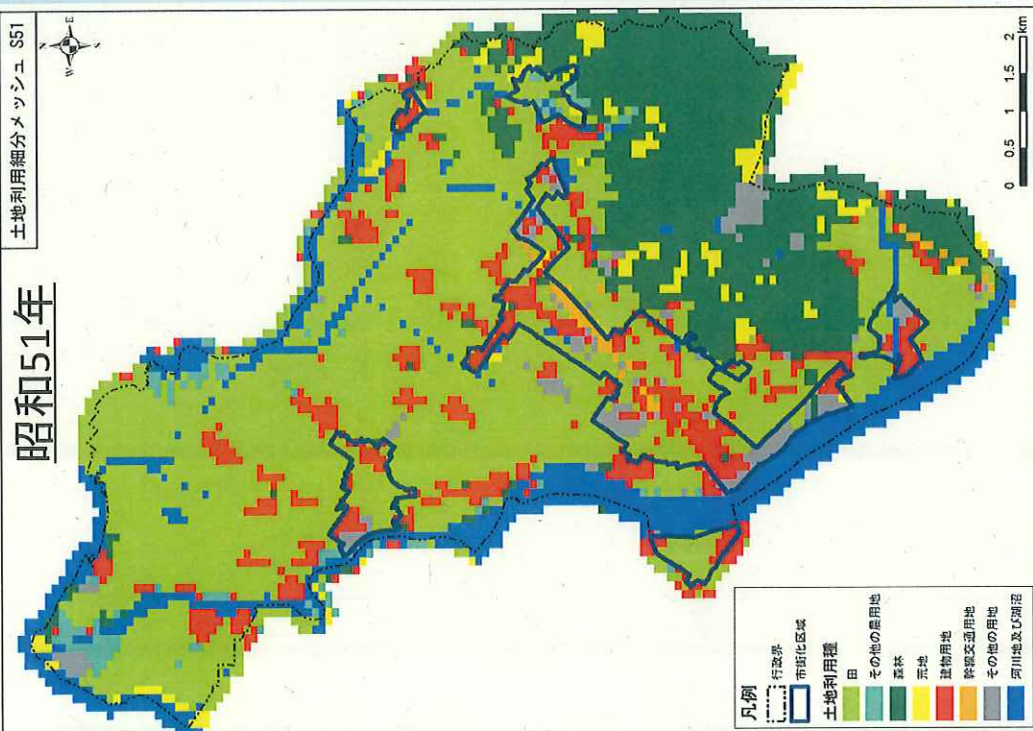


図. 土地利用 (昭和51年) 出典) 国土数値情報

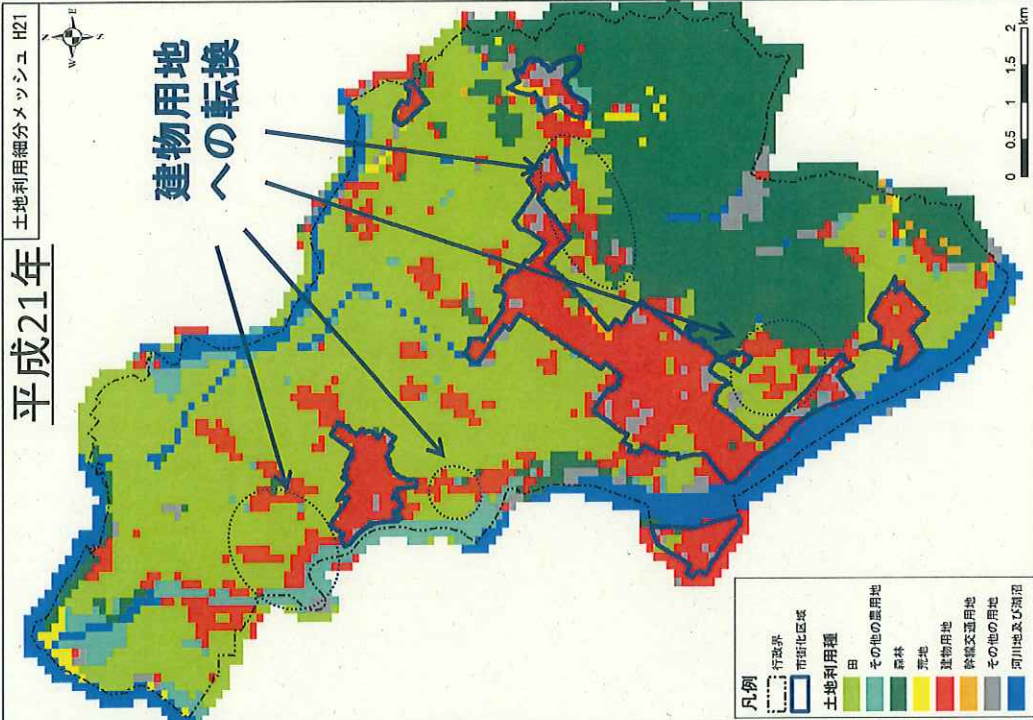
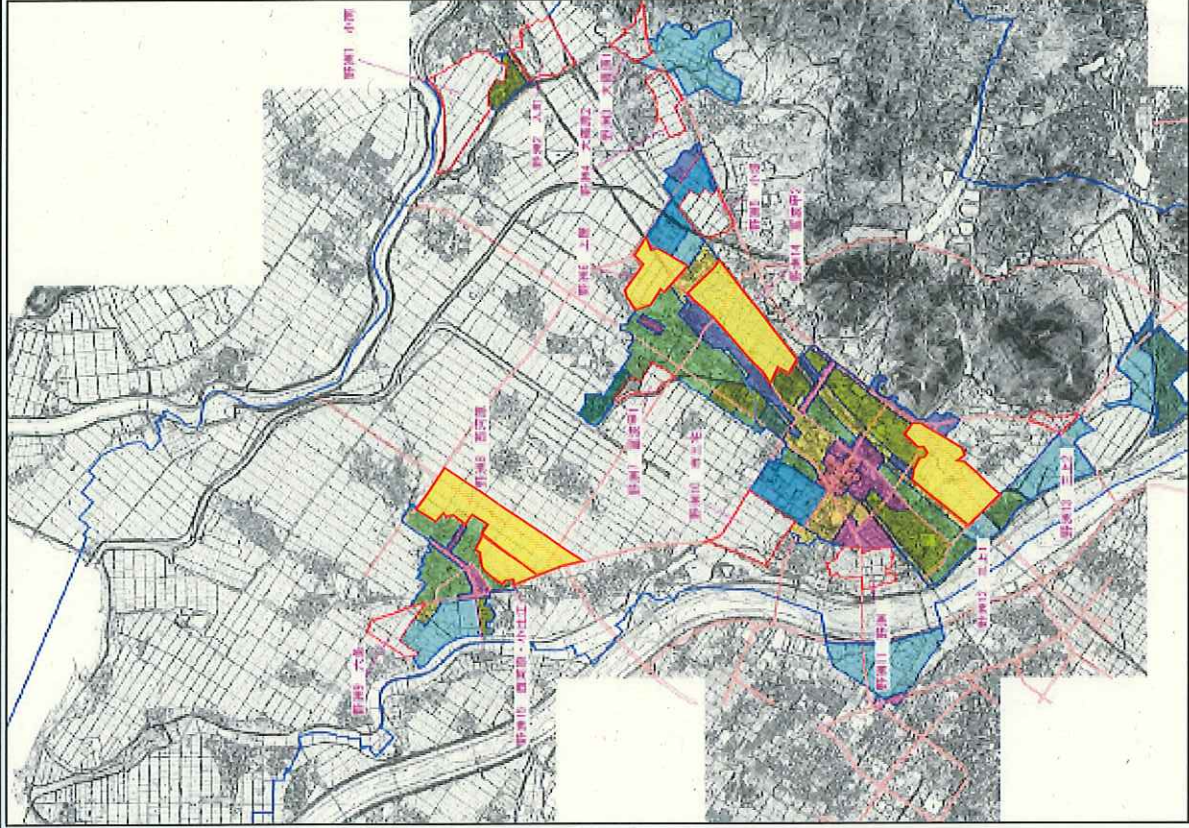


図. 土地利用 (平成21年) 出典) 国土数値情報



■ 野洲市まちづくりビジョンにおける  
市街化区域編入検討地区位置図

重点地区	189ha
既存市街化区域	767ha
合計 (市街化割合)	956ha (15.8%)





## (2) 基幹道路を中心とした商業サービスの誘導

- ◆ 本市では商業中心性指標が低く、消費が市外に流出している。
- ◆ 市街化区域内においても商業施設が空白地域となっている地域がある。
- ◆ そのため生活サービス機能の整った良好な住環境を形成し居住誘導に資するためにも、商業機能の増強・拡充を図る必要がある。

単位：百万円

	H24年間 商品販売額	1人あたり 年間商品 販売額	商業 中心性指標
大津市	404,626	1.198	0.781
草津市	305,888	2.337	1.523
守山市	99,763	1.303	0.849
栗東市	213,777	3.358	2.188
<b>野洲市</b>	<b>48,675</b>	<b>0.974</b>	<b>0.635</b>
湖南市	54,192	0.992	0.647

表. 県内の年間商品販売額の状況  
出典)H24経済センサス・H22国勢調査

※商業中心性指標：  
人口1人あたり年間商品販売額÷  
県内人口1人あたり年間商品販売額

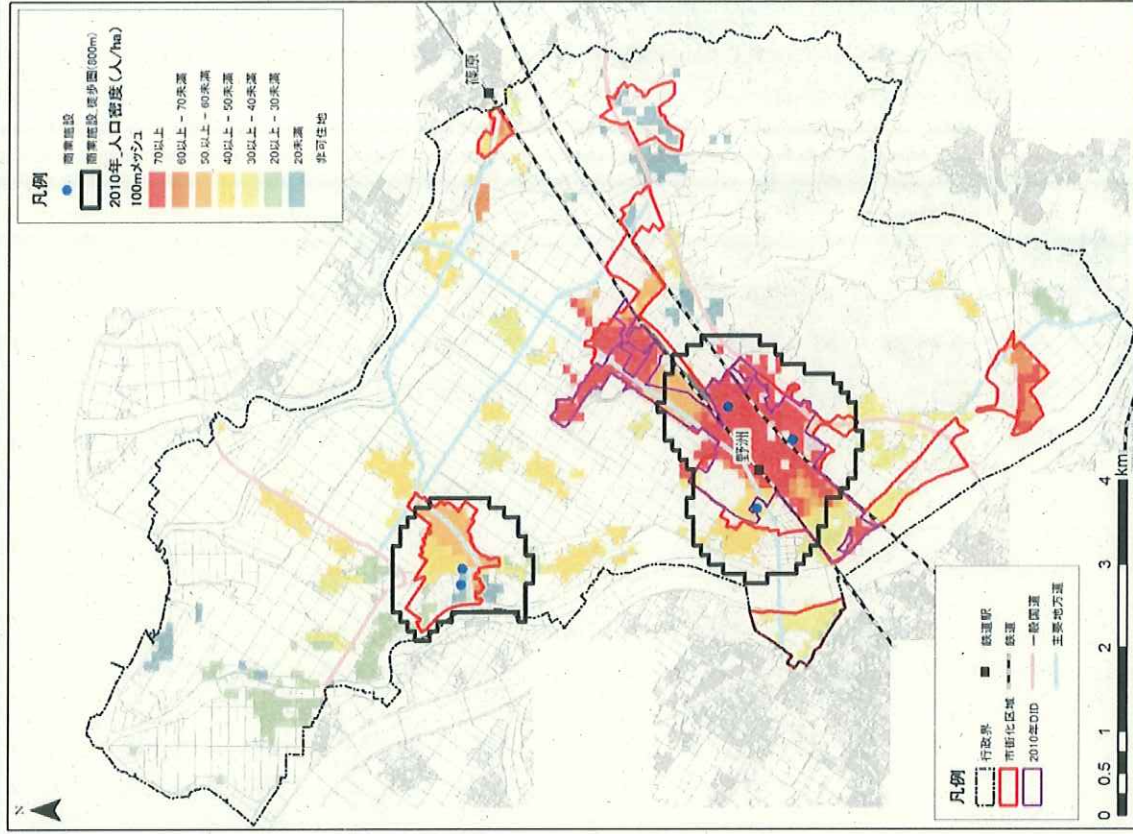


図.人口密度と商業施設の分布状況



### (3) 野洲駅へのバス利便性の向上

- ◆ 野洲市の自動車の交通分担率は約6割であり、平成12年と比較して大きな変動はない。
- ◆ しかし今後、自動車利用できない高齢者の増加が懸念されることから、公共交通の利便性向上が求められる。
- ◆ 市内から野洲駅へ公共交通でアクセスする場合、30分以内に到達できる人口は約31%であり、アクセス性向上の実現と公共交通ネットワークの充実が課題である。

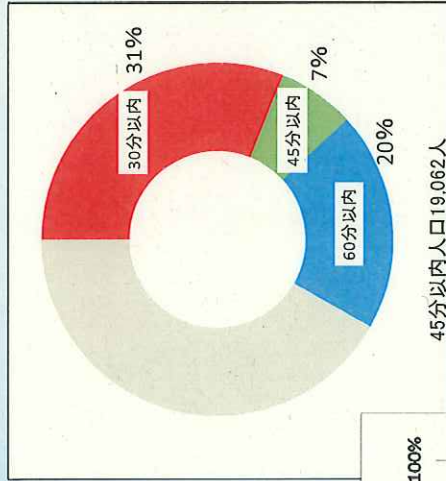


図. JR野洲駅までの移動時間と人口割合

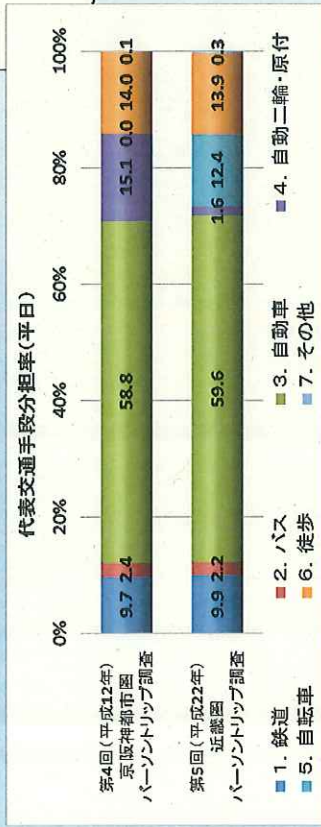


図. 野洲市における代表交通手段分担率(平日)

出典) パーソントリップ調査

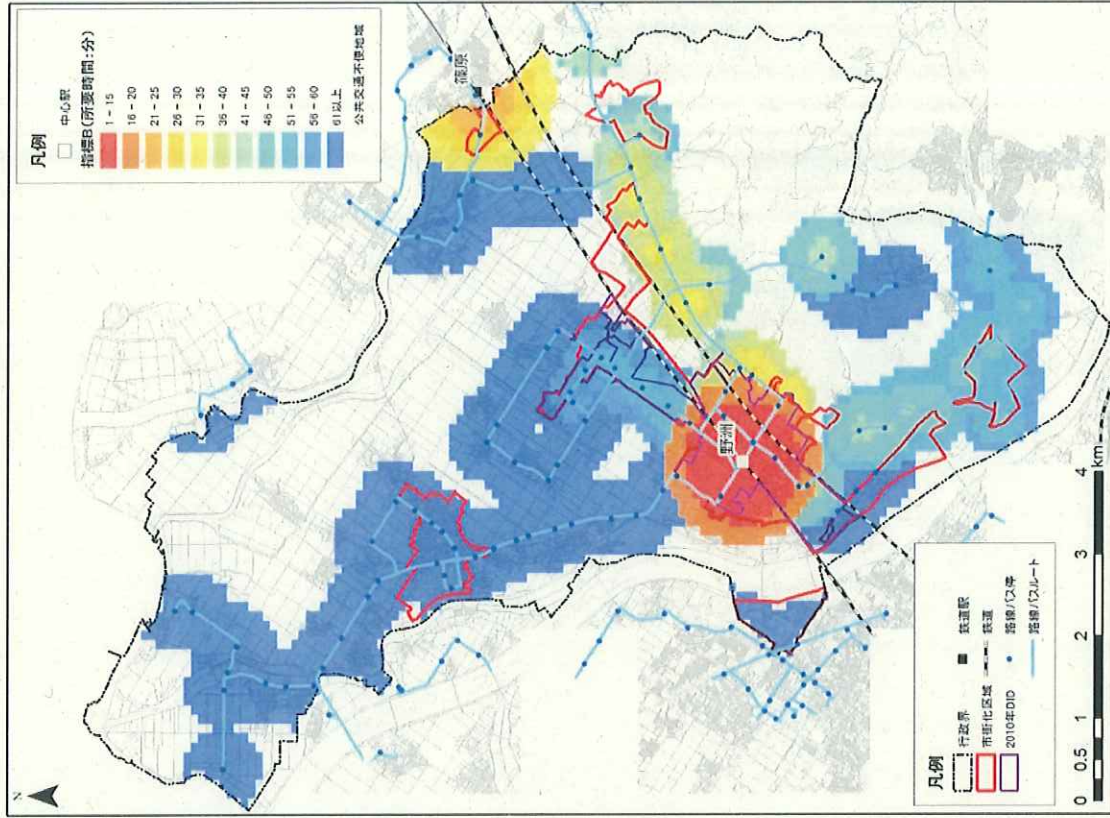


図. 野洲駅へのアクセス状況



# 公共交通路線と人口分布

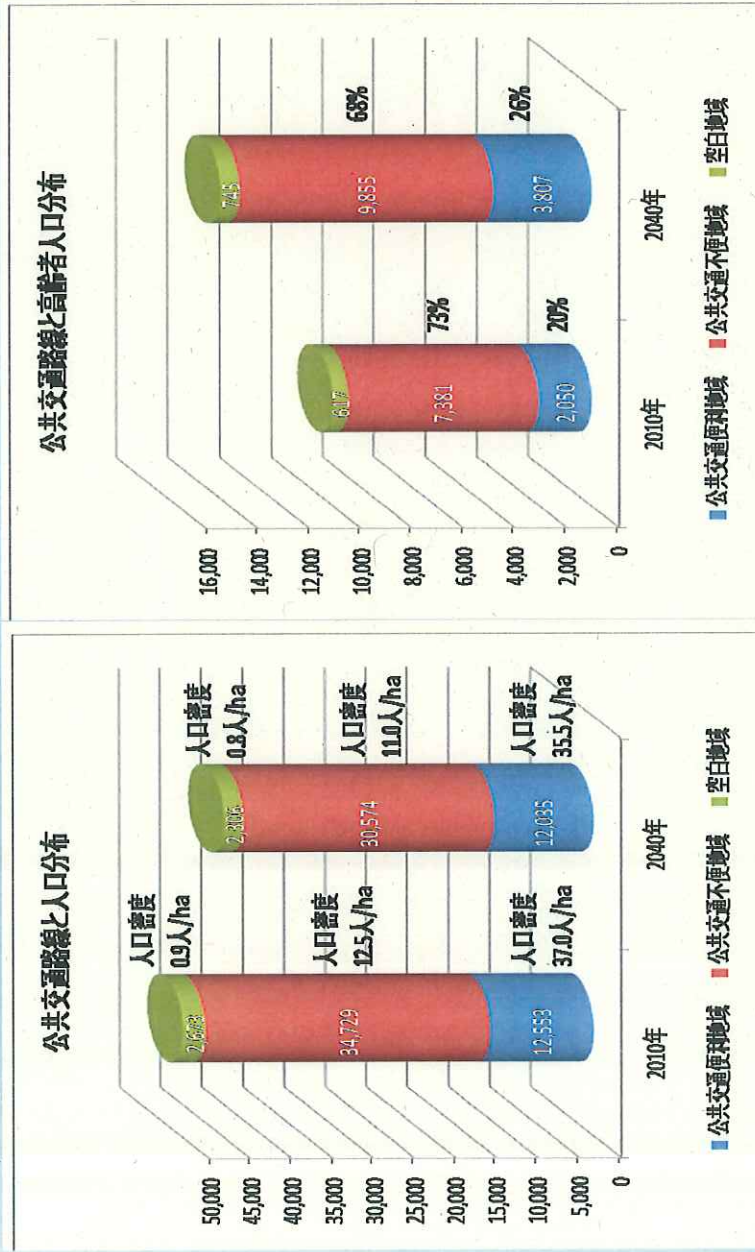


図. 公共交通路線と人口分布

図. 公共交通路線と高齢者人口分布

公共交通手段	バス	
	バス停から300m圏内	バス停から300m圏外
鉄	運行本数30本/日以上	運行本数30本/日未満
	公共交通便利地域	公共交通不便地域
道	駅から800m圏内	公共交通不便地域
	駅から800m圏外	公共交通不便地域

表. 公共利便地域等の定義

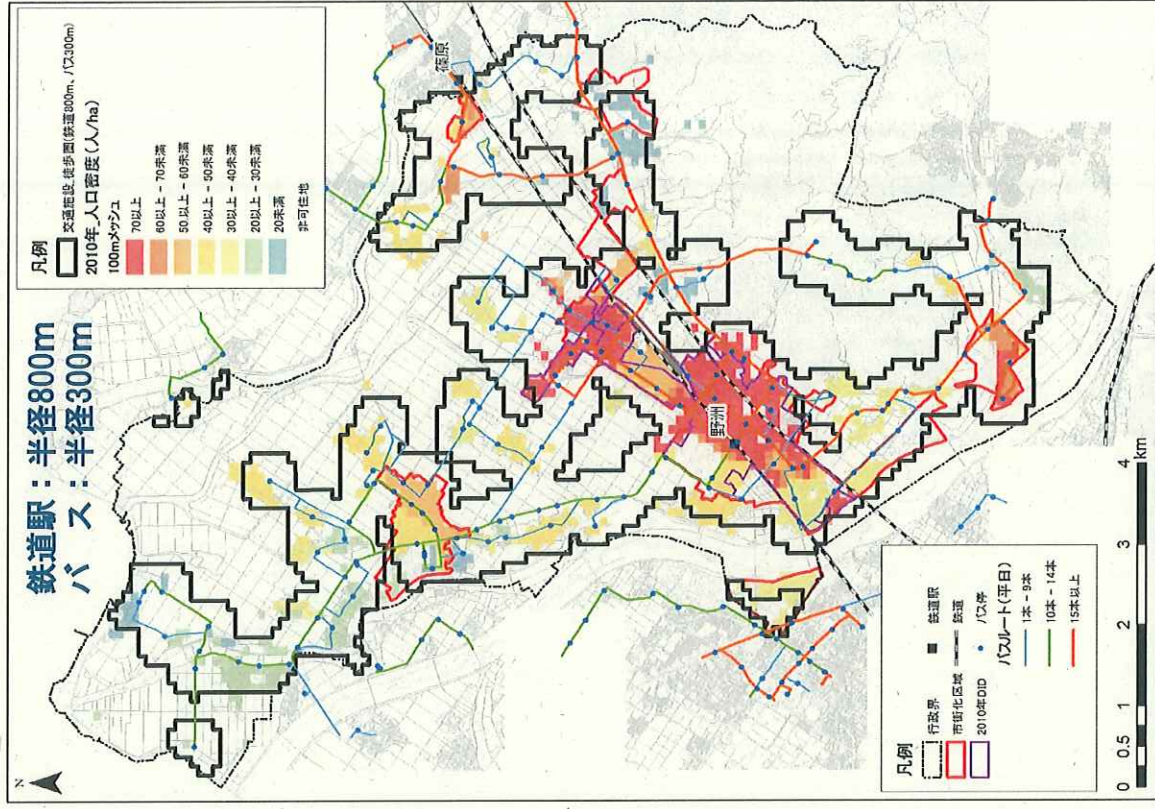


図. 鉄道・バス停留所の駅勢圏と人口分布



## (4) 広域的な基幹交通インフラの整備

- ◆ 本市における就業者の流入・流出状況及び購買状況を見ると、大津湖南地域において広域的な生活圏を形成していると言える。
- ◆ しかし、市域を横断する国道8号や主要地方道大津能登川長浜線の野洲川架橋部において朝夕に慢性的に渋滞が発生していることから、基幹交通インフラの整備が急がれる。
- ◆ 特に国道8号野洲栗東バイパス整備事業による渋滞緩和により、生活道路への進入車両の減少、交流・物流の利便向上による地域経済の活性化、第3次救命救急センターへのアクセス向上や災害発生時の救援・復旧対応性の向上による安心・安全の確保が期待される。

選択肢	通勤または通学		日常の買い物		日用品以外の買い物		かかりつけ医への通院	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1. 市内	95	30.3%	248	79.7%	75	24.2%	249	79.8%
2. 守山市	30	9.6%	25	8.0%	37	11.9%	21	6.7%
3. 栗東市	10	3.2%	1	0.3%	2	0.6%	4	1.3%
4. 草津市	18	5.7%	13	4.2%	114	36.8%	7	2.2%
5. 近江八幡市	16	5.1%	4	1.3%	20	6.5%	7	2.2%
6. 湖南市	13	4.1%	4	1.3%	2	0.6%	3	1.0%
7. 大津市	24	7.6%	0	0.0%	4	1.3%	4	1.3%
8. その他	84	26.8%	13	4.2%	53	17.1%	10	3.2%
無回答	24	7.6%	3	1.0%	3	1.0%	7	2.2%
計	314	100.0%	311	100.0%	310	100.0%	312	100.0%

表. 日常の用事を行う場合の行先結果

出典) 野洲市人口ビジョン 結婚・出産・子育て・生活に関するアンケート調査

都市計画道路

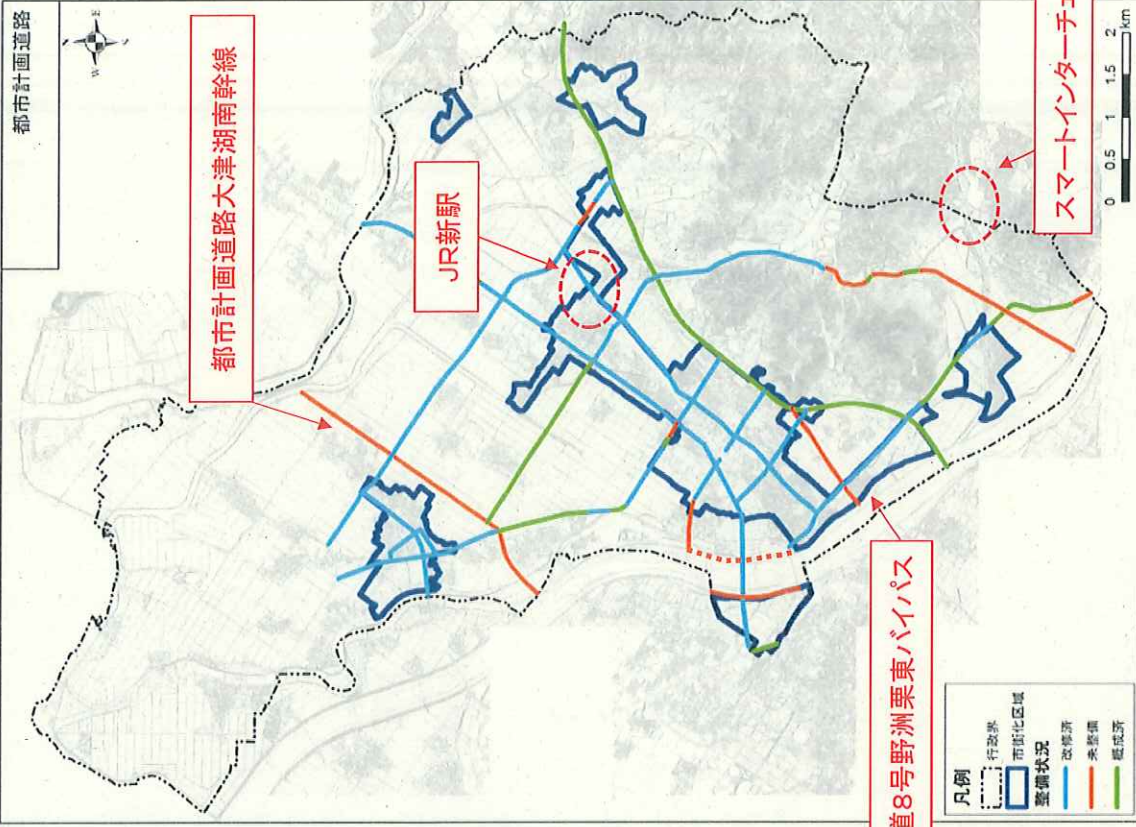


図. 将来の広域的基幹交通インフラ整備予定図

出典) 野洲市資料



# 流入・流出人口と従業員の分布

	H12	H17	H22
夜間人口(常住人口)(人)	48,293	49,453	49,955
昼間人口(人)	46,002	46,665	48,673
昼間人口率(%)	95.3	94.4	97.4
市外からの就業者(流入人口)(人)	13,388	13,248	13,860
市外からの通学者(流入人口)(人)	233	215	322
市外からの流入人口合計(人)	13,621	13,463	14,182
市外への就業者(流出人口)(人)	13,510	14,006	14,035
市外への通学者(流出人口)(人)	2,326	2,134	2,147
市外への流出人口合計(人)	15,836	16,140	16,182
差引増減(人)	-2,215	-2,677	-2,000

表. 流入・流出人口の推移  
出典) 国勢調査

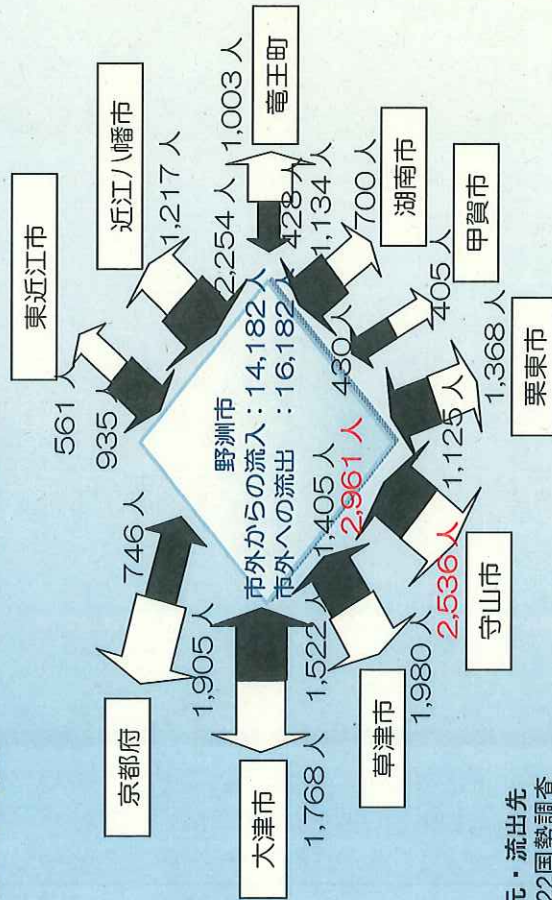


図. 主な流入元・流出先  
出典) H22国勢調査

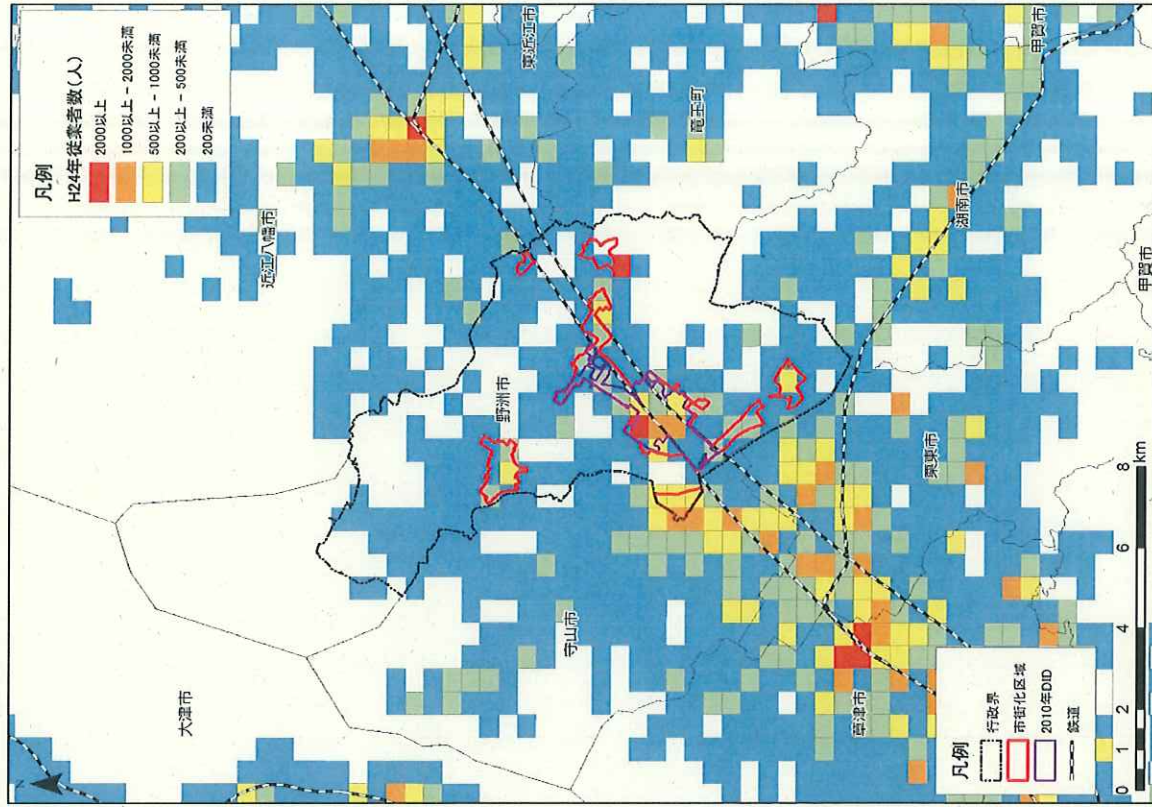


図. 従業員の状況  
出典) 経済センサス

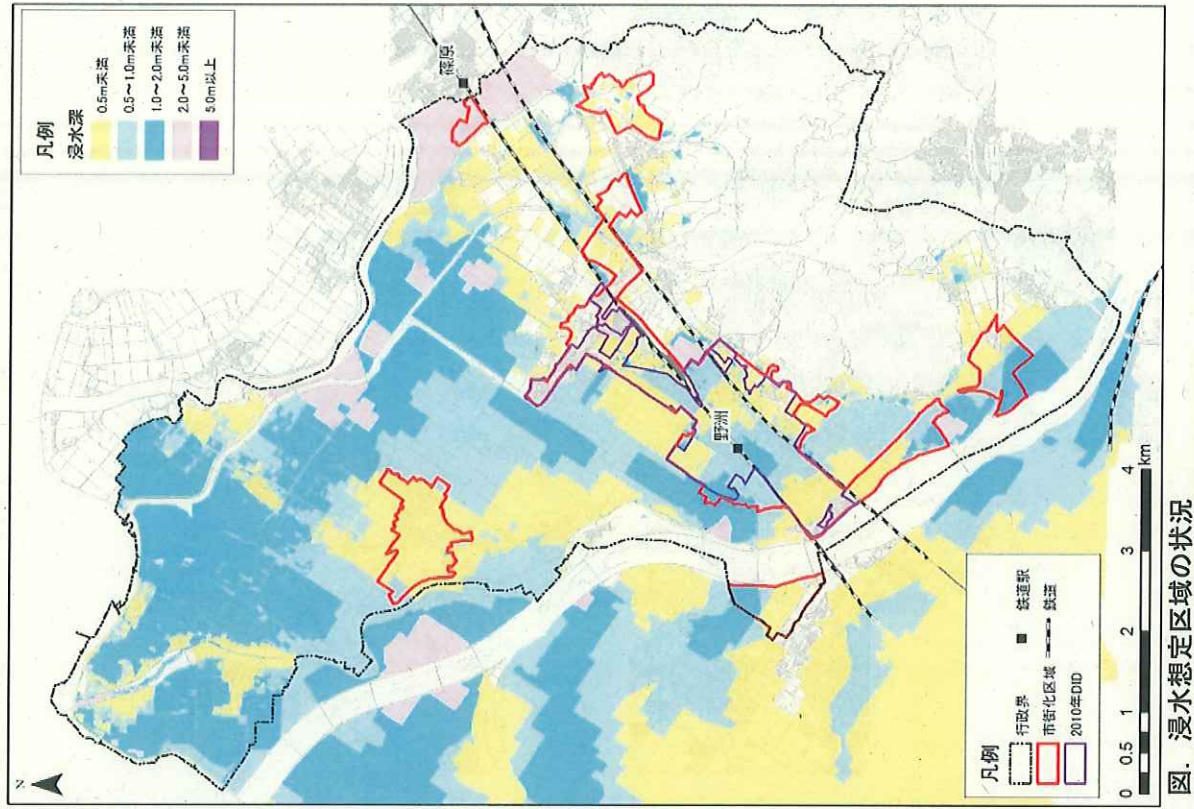


## (5) 災害等に対する安全性の確保

- ◆ 良好な住環境整備や適正な都市機能集約を図る上で災害等に対する安全性の確保は必須であり、本市では河川整備と下水道雨水排水整備による治水安全度の向上が課題である。
- ◆ 特に人口密度が高く高齢者人口の増加が見込まれるJR野洲駅周辺においては、一級河川妓王井川の整備等により市民生活の安全性の維持・向上が求められる。



写真. 台風18号の被害状況(平成25年9月16日)





# ハザードマップと人口分布

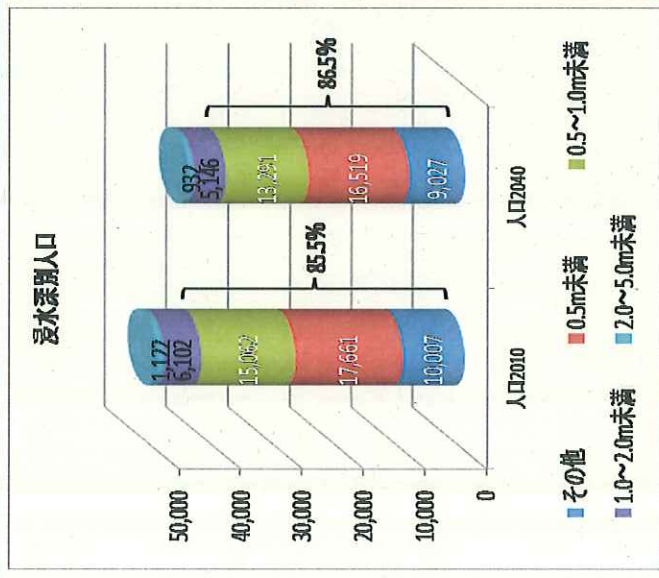


図. 浸水深別人口

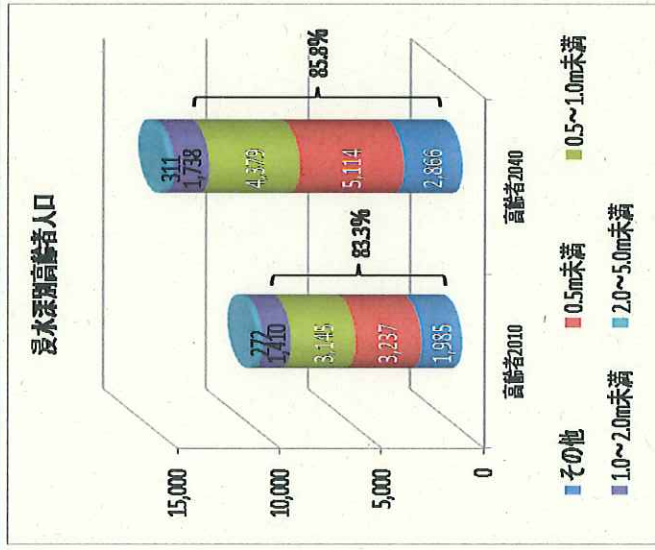


図. 浸水深別高齢者人口

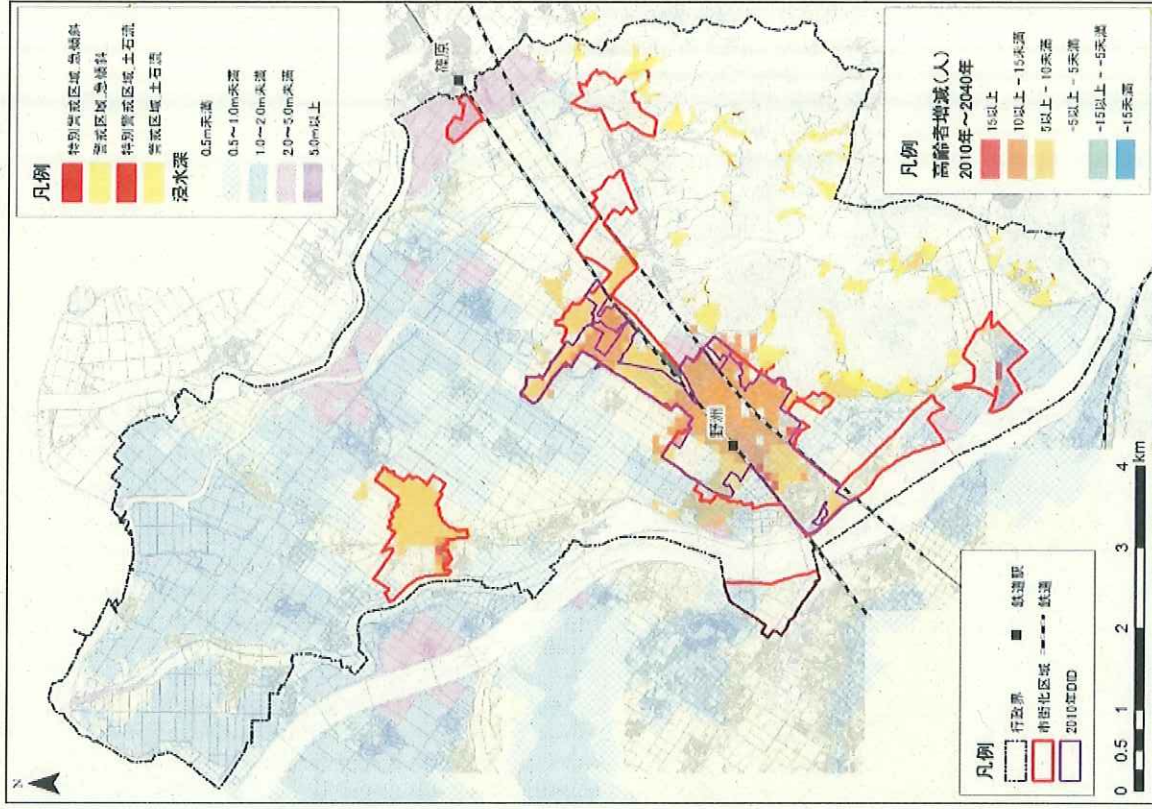


図. 高齢者増減とハザードの状況